



# 令和7年度 進路だより



令和7年4月24日 発行  
南風原町立 南風原中学校  
発行者(進路担当) 与那嶺

## 計画的に準備して取り組もう!

昨年度の沖縄県立高校入試より、推薦入試に変わって新しく特色選抜制度がスタートしました。特色選抜では、中学校1年生の段階から計画的な目標設定と、目標を実現するための確実な取り組みを行うことが求められています。

今年度の高校入試に挑む3年生だけでなく、2年生や1年生も、この機会に将来のことを思い描き、進むべき進路について考え、家族や友人と話し合ってみましょう。



### 進路実現に向けて未来ノートを使ってみよう!

理想の未来を実現するには、自分の進路を定めて行動することが大切です。中学校卒業後にどのような道を進むか、その選択は一人ひとり異なりますから、進路を実現するために必要なことも、一人ひとり異なります。自身に適した方法で未来に向けて歩むことができるのか振り返り改善していくには、日々の活動や成長の様子を記録に残し、確認できるようにすることが大切です。そこで重要になるのが、「未来ノート」です。

南風原中学校では、生徒1人に1冊、未来ノートを配布しています。年間、学期ごと、定期テストごと、行事ごとに目標を立て、反省を記録することができます。また、部活動や検定試験で頑張った成果、ボランティア活動の履歴も書き残すことができます。さらに「未来ノート電子版」として、日々の予定や反省をダイアリー形式で書き残すことができるWEBアプリも、google classroomの中で全校生徒へ配信しています。

毎日「未来ノート」を記入するのは、とても面倒に感じるでしょう。しかし、使っているうちに慣れてくると面倒さが薄れ、自分自身の成長にとって大きな力となります。より良い未来を実現するために、まずは頑張って活用してみましょう。

「未来ノート電子版」については、タブレットで毎日入力するのが得意でない人や、常に手元に置いて見返したいのにタブレットではそれができなくて困るという人も、いると思います。そういう方は市販品の手帳で構いませんので、未来ノート電子版の代わりとなる紙の手帳を自分で購入してください。紙の手帳を購入した人は、無理して「未来ノート電子版」を使う必要はありません。100円ショップのものでも構いません。また、アマゾン等の通販サイトでは、「フォーサイト」や「NOLTY スコラ」といった、学生向けに特化した便利な手帳も販売されていますので、興味のある方はぜひ検索してみてください。

## 特色選抜制度を知ろう①

沖縄県立高校入試は、特色選抜と一般選抜の2つの選抜方法が設けられており、それぞれ以下の方法で合否判定を行います。

**特色選抜** 学力検査 + 調査書 + 実績証明 + 各高校が独自に設定する試験  
(独自試験には、個人面接、集団面接、口頭試験、実技、作文、プレゼンテーション、1分間スピーチ、付加問題の学力試験などがあります。)

**一般選抜** 学力検査 + 個人面接 + 調査書

※調査書とは、中学校3年間の評定や出席状況、活動実績等を記載したもの

特色選抜はこれまでの推薦入試とは異なり、中学校で推薦判定会議を行わず、出願したい生徒は高校が示した出願条件さえ満たしていれば、誰でも出願が可能です。特色選抜と一般選抜の両方に出願する人もいれば、一般選抜のみ出願する人もいます。特色選抜のみ出願することはできません。特色選抜と一般選抜は同時に試験が行われ、合格発表も同時に行われます。推薦入試のように特色選抜の合否が先に判明することは、ありません。

特色選抜と一般選抜の両方に出願する場合、両選抜とも同じ高校へ出願することも可能ですし、異なる高校へ出願することも可能です。特色選抜と一般選抜で異なる高校へ出願した場合、特色選抜の合否判定が優先されるので、特色選抜で合格が決まった場合は、一般選抜での合否判定は行われず、特色選抜で不合格の場合のみ、一般選抜での合否判定が行われます。

### 特色選抜の、ここに注意！

特色選抜に出願するには、高校側が示した出願要件を満たす必要があります。昨年度、以下のような要件を指定している高校が見られました。(詳しくは次号で特集します)

- 【よく見られた出願要件】
- ① 評定平均(中1~中3の学年末評定平均が○以上)
  - ② 主要科目の評定(○○の教科で3年間すべて4以上)
  - ③ 出席状況(欠席数が年○日未満、3年間で○日未満)
  - ④ 公的な大会や公的資格の実績を証明する資料があること
  - ⑤ 県大会○位以上または検定○級以上の実績

評定や出席状況だけでなく、実績についても様々な条件が設けられています。スポーツの実績については、中体連主催大会の実績しか認めない(協会主催大会やクラブチームの大会はダメ)という高校もありますし、書道や珠算、空手、柔道、剣道等の流派で与えられる級・段位は多くの高校で実績として認められていませんので、注意してください。

実績の証明には賞状・資格証・証明書等のコピー(団体競技の場合はメンバー表も必須)をA4サイズで提出する必要があります。中1の段階から、賞状を貰ったらコンビニ等でA4サイズにコピーし、紛失しないようファイリングしてください。中2・中3の生徒も、今のうちから過去にもらった賞状の確認と整理、ファイリングをお願いします。